

2020年12月期 第2四半期 決算説明会

2020年8月27日

サカタインクス株式会社

1. 2020年12月期 第2四半期実績

2. 2020年12月期 通期予想と今後の計画

3. 持続的成長に向けた取り組み

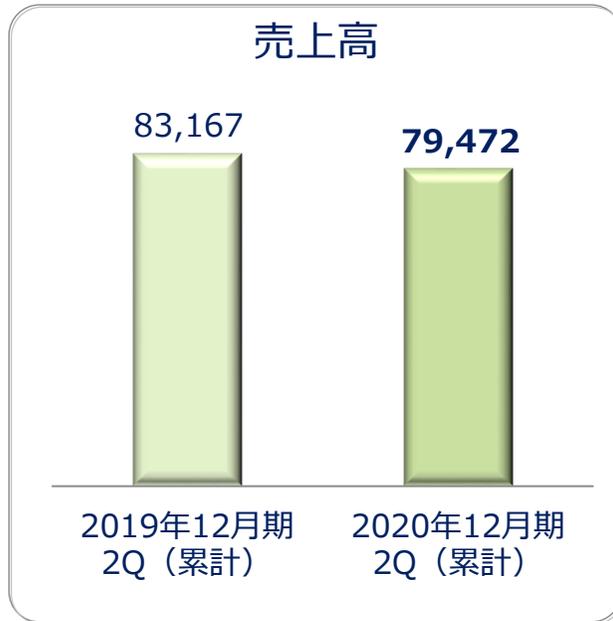
本資料に記載されている将来の計画数値、種々の施策は2020年8月27日現在で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断したものでございますが、今後の経済情勢、事業環境等により変化することもあり、計画数値、種々の施策を確約したり、保証するものではありません。

1. 2020年12月期 第2四半期実績



第2四半期（累計）連結実績

(単位：百万円)



(単位：百万円)

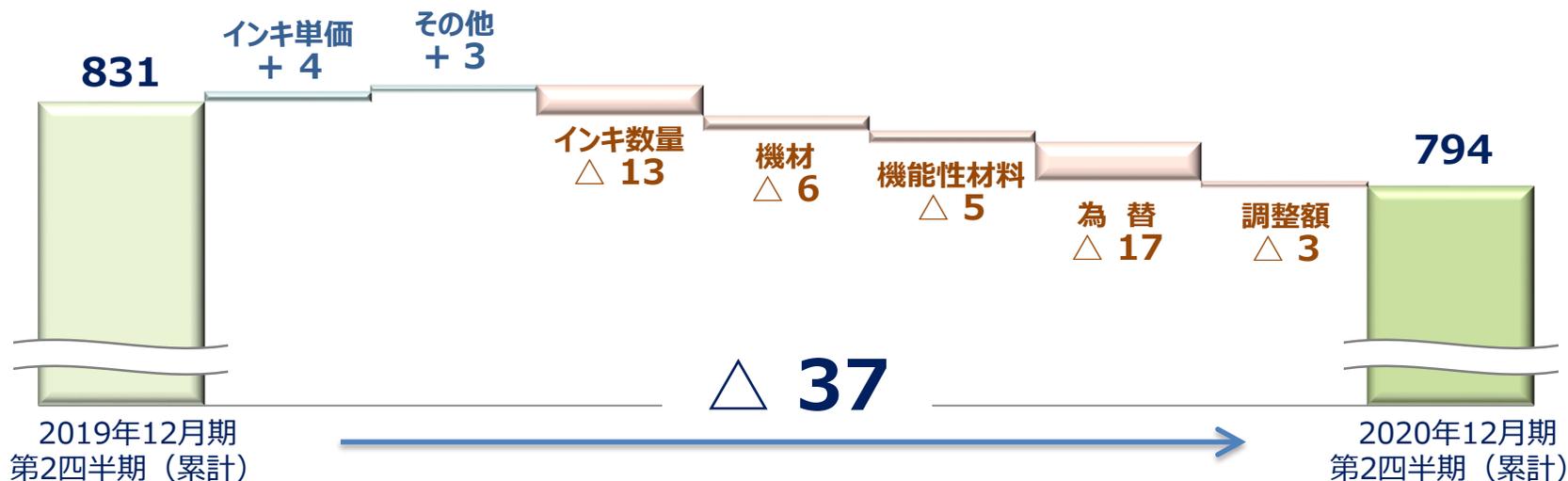
	2019年12月期 2Q (累計)		2020年12月期 2Q (累計)					
	金額	売上高比率	金額	売上高比率	増減額	増減率	為替換算 影響額	為替影響 排除後増減率
売上高	83,167		79,472		△3,695	△4.4%	△1,679	△2.4%
営業利益	3,051	3.7%	3,181	4.0%	130	4.3%	△75	6.7%
経常利益	3,718	4.5%	2,583	3.3%	△1,134	△30.5%	149	△34.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,386	2.9%	1,497	1.9%	△888	△37.2%	101	△41.5%

期中レート(USドル) 110.05円

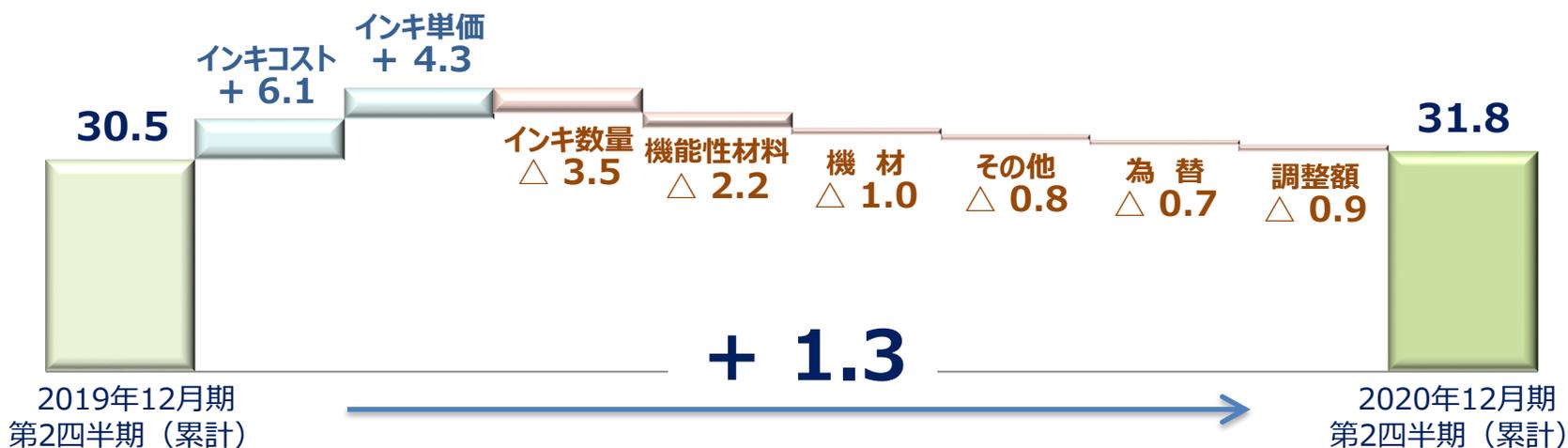
108.27円

第2四半期（累計） 前年同期比 要因別増減

売上高（億円）



営業利益（億円）



業績への影響（概要）

<マイナス影響>

【イベントの中止・広告需要低下】

チラシやカタログなどの印刷物、新聞広告、サインディスプレイ需要など低下
（新聞インキ、オフセットインキ、インクジェットインキ）

【経済活動停滞・移動制限】

各種工業製品の生産量低下に伴う段ボール需要の減少
観光産業の不振（インバウンドの減少）による土産物や紙袋などの需要減
（フレキソインキ、グラビアインキ）

【テレワークの進展】

オフィスにおける文書出力機会の減少（トナー）

<プラス影響>

【巣ごもり消費・感染防止対策】

食品や飲料のパッケージ需要増加
衛生対策用品や医療関連のパッケージ需要増加
（フレキソインキ・グラビアインキ）

サプライチェーンへの影響

<生産活動>

【中国のロックダウンに伴うインキ材料の調達不安】
グループ間での迅速な情報共有
在庫の積み増し、複数の調達ルート確保



中国の経済再開に伴ない
調達不安解消

【中国、インド、フィリピン等のロックダウン】
数週間から一か月程度の工場稼働停止
【欧米やアジアのほかの地域でも生産活動に支障】
政府の移動制限などによって従業員の出勤に影響



食品・衛生・医療などに携わる
生活必需品産業として
早期の稼働再開

<販売・物流>

【移動制限の影響】
原材料の搬入および得意先への配送に支障
【得意先の稼働停止】



経済活動の再開によりほぼ回復

第2四半期（累計）セグメント別 売上高・営業利益

（単位：百万円）

	売上高			営業利益		
	2019年12月期 2Q（累計）	2020年12月期 2Q（累計）	増減額	2019年12月期 2Q（累計）	2020年12月期 2Q（累計）	増減額
印刷インキ・機材（日本）	25,655	23,802	△1,853	266	393	127
印刷インキ（アジア）	17,384	15,365	△2,019	1,138	861	△277
印刷インキ（米州）	24,271	24,868	597	932	1,481	548
印刷インキ（欧州）	4,994	5,146	151	△371	△ 254	116
機能性材料	6,321	5,744	△577	522	302	△219
報告セグメント計	78,628	74,927	△3,701	2,488	2,784	295
その他	8,353	8,628	274	206	126	△79
調整額	△3,815	△ 4,083	△268	356	270	△85
合計	83,167	79,472	△3,695	3,051	3,181	130

利益プラス要因

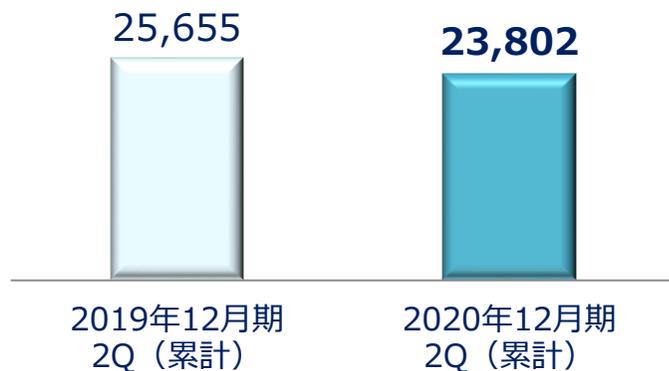
- 巣ごもり需要によるパッケージ用インキの増加
- 拡販に伴うパッケージ用インキの増加（米州・欧州）
- 原材料コストの抑制
- 販売管理費・諸経費の低減
- 組織再編と設備投資効果（欧州）

利益マイナス要因

- イベント・広告などの減少による情報印刷関連の低迷
- インバウンド需要減、工業製品用途需要減（日本）
- 中国やインドにおける稼働停止（アジア）
- アルコール類の価格上昇（欧州）
- インクジェットインキ・トナー需要の低迷（機能性材料）

第2四半期（累計）印刷インキ・機材（日本）

売上高（百万円）



+

- 感染症の影響による巣ごもり需要 (軟包材用グラビア)

-

- 広告需要減少・デジタル化進展 (新聞・オフセット) (印刷製版用材料)
- 工業製品用途の需要減 (段ボール用フレキソ)
- インバウンド需要減 (紙袋用フレキソ)

	増減額 (百万円)	増減率 (%)
前年同期比	△1,853	△7.2

営業利益（百万円）



+

- 軟包材用グラビアが堅調
- 価格改定 (フレキソ、新聞)
- コスト削減 (原材料費・物流費・交通費等)

-

- 新聞・オフセット、機材販売が低調
- 一部フレキソの低調

	増減額 (百万円)	増減率 (%)
前年同期比	127	47.8

第2四半期（累計）印刷インキ（アジア）

売上高（百万円）



+

- ▶ グラビア販売数量の増加
(インドネシア・ベトナム)

-

- ▶ 情報印刷関連の低迷
(中国・インド)
- ▶ 生産活動一時停止・移動制限
- ▶ 円高による為替換算の影響

	増減額 (百万円)	増減率 (%)
前年同期比	△2,019	△11.6
為替影響排除後	△1,448	△8.3

営業利益（百万円）



+

- ▶ グラビア販売数量の増加
(インドネシア・ベトナム)
- ▶ 原材料コストの抑制

-

- ▶ 情報印刷関連の低迷
(中国・インド)
- ▶ 生産活動一時停止・移動制限

	増減額 (百万円)	増減率 (%)
前年同期比	△277	△24.4
為替影響排除後	△255	△22.4

第2四半期（累計）印刷インキ（米州）

売上高（百万円）



+

- ▶ パッケージ用インキ販売数量の増加
(フレキソ・グラビア・缶用・UV)

-

- ▶ 広告需要減少・デジタル化進展
(オフセット)
- ▶ 円高による為替換算の影響

	増減額 (百万円)	増減率 (%)
前年同期比	597	2.5
為替影響排除後	1,408	5.8

営業利益（百万円）



+

- ▶ パッケージ用インキ販売数量の増加
(フレキソ・グラビア・缶用・UV)
- ▶ 原材料コストの抑制

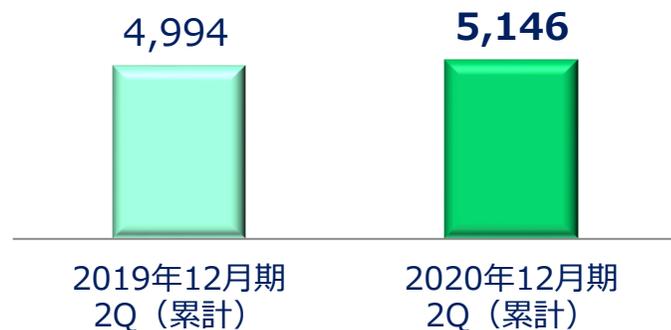
-

- ▶ 広告需要減少・デジタル化進展
(オフセット)

	増減額 (百万円)	増減率 (%)
前年同期比	548	58.9
為替影響排除後	609	65.4

第2四半期（累計）印刷インキ（欧州）

売上高（百万円）



	増減額（百万円）	増減率（%）
前年同期比	151	3.0
為替影響排除後	378	7.6

+

➤ パッケージ用インキ販売数量の増加
（グラビア・フレキソ・缶用）

-

➤ 円高による為替換算の影響

営業利益（百万円）



	増減額（百万円）	増減率（%）
前年同期比	116	-
為替影響排除後	109	-

+

➤ パッケージ用インキ販売数量の増加
（グラビア・フレキソ・缶用）
➤ 組織再編・生産体制強化に伴うコスト削減

-

➤ 一部原材料価格の上昇

第2四半期（累計）機能性材料

売上高（百万円）



+

- ▶ パネル供給過剰の緩和による販売堅調
(カラーフィルター用顔料分散液)

-

- ▶ 広告需要減少による販売不振
(インクジェットインキ)
- ▶ オフィス需要低下による販売不振
(トナー)

	増減額 (百万円)	増減率 (%)
前年同期比	△577	△9.1
為替影響排除後	△502	△8.0

営業利益（百万円）



+

- ▶ パネル供給過剰の緩和による販売堅調
(カラーフィルター用顔料分散液)

-

- ▶ 広告需要減少による販売不振
(インクジェットインキ)
- ▶ オフィス需要低下による販売不振
(トナー)

	増減額 (百万円)	増減率 (%)
前年同期比	△219	△42.1
為替影響排除後	△221	△42.4

第2四半期（累計）連結貸借対照表の主な増減 ・ 連結キャッシュフロー計算書

◆ 連結貸借対照表の主な増減

（単位：億円）

科目	2019年 12月31日現在	2020年 6月30日現在	増減
現金・預金	101	129	28
売上債権	458	416	△42
流動資産	790	792	1
固定資産	692	674	△17
資産合計	1,482	1,467	△15
仕入債務	306	266	△39
短期借入金	81	124	42
流動負債	463	459	△3
長期借入金	80	98	18
固定負債	205	216	11
負債合計	668	676	8
自己資本 ※	766	743	△23
非支配株主持分	47	46	△0
純資産合計	814	790	△23
負債・純資産合計	1,482	1,467	△15
期末レート（USドル）	109.56円	107.74円	-

借入金合計

2019年12月末 162億円
2020年6月末 223億円

自己資本比率

2019年12月末 51.7%
2020年6月末 50.7%

※ 自己資本
 = 株主資本合計 + その他の包括利益累計額合計

◆ 連結キャッシュフロー計算書

（単位：百万円）

科目	期別	2019年12月期 2Q（累計） （2019.1.1~6.30）	2020年12月期2Q（累計） （2020.1.1~6.30）
営業活動によるキャッシュ・フロー		3,056	2,623
投資活動によるキャッシュ・フロー		△2,317	△ 4,286
財務活動によるキャッシュ・フロー		△1,553	5,064
現金及び現金同等物の四半期末残高		7,447	12,263

2. 2020年12月期 通期予想と今後の計画



通期業績予想

(単位：百万円)



(単位：百万円)

	2019年12月期	2020年12月期 2/14公表予想	2020年12月期 8/7修正予想			
	金額	金額	金額	前期比		当初予想比
売上高	167,237	171,000	161,800	△5,437	△3.3%	△9,200
営業利益	6,225	7,500	7,000	774	12.4%	△500
経常利益	7,319	8,800	6,700	△619	△8.5%	△2,100
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,114	5,800	4,200	85	2.1%	△1,600
期中レート(USドル)	109.05円	109.00円	108.00円			

セグメント別 連結業績予想

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2019年	2020年予想	前期比%	2019年	2020年予想	前期比%
印刷インキ・機材（日本）	51,876	49,757	△4.1	822	1,210	47.2
印刷インキ（アジア）	35,277	33,175	△6.0	2,420	2,378	△1.7
印刷インキ（米州）	48,771	49,544	1.6	1,945	2,686	38.1
印刷インキ（欧州）	9,790	9,764	△0.3	△985	△431	—
機能性材料	12,452	11,300	△9.3	926	354	△61.8
報告セグメント計	158,168	153,540	△2.9	5,129	6,197	20.8
その他	16,837	16,421	△2.5	369	37	△90.0
調整額	△7,767	△8,162	—	727	765	—
合計	167,237	161,800	△3.3	6,225	7,000	12.4

利益プラス要因

- パッケージ用インキの拡販（米州・欧州）
- 原材料価格の低減（グローバル共同購買・原油市況下落）
- 販売管理費・諸経費の低減
- 欧州の組織再編と設備投資効果

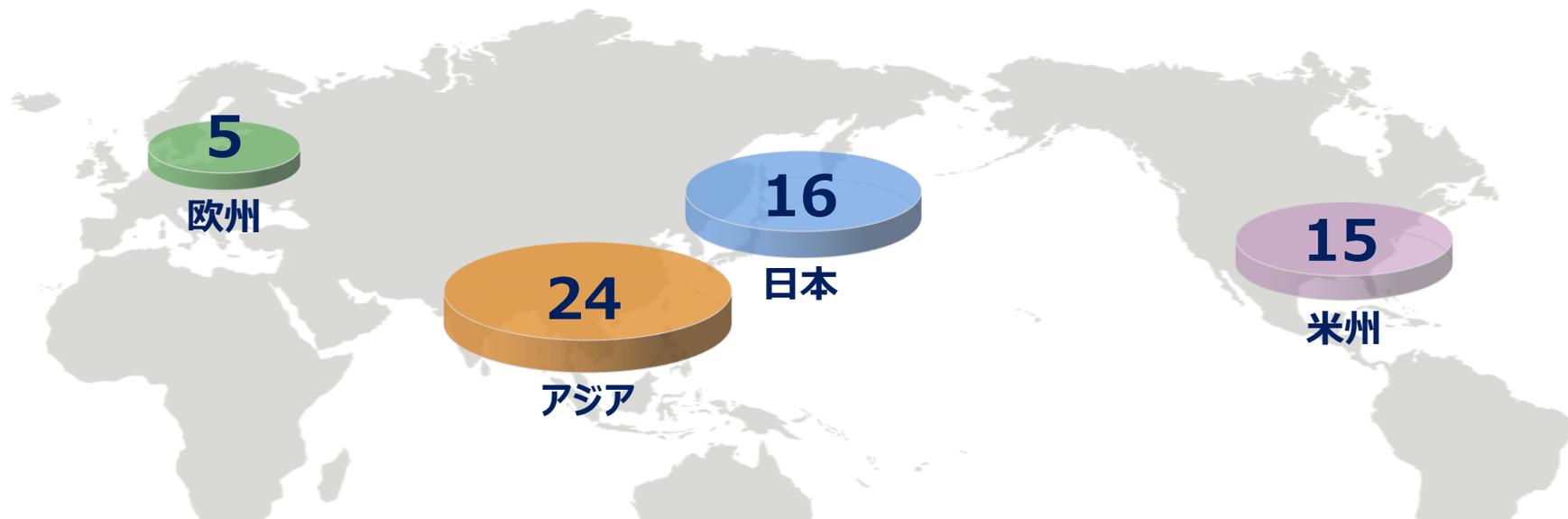
利益マイナス要因

- 情報印刷関連のインキの低迷（全体）
- 上期の中国やインドにおける稼働停止（アジア）
- アルコール類の価格上昇
- インクジェットインキ、トナーの低迷（機能性材料）
- 国内関係会社の低迷（その他）

2020年12月期 地域別設備投資予定額（非連結含む）

2020年12月期 地域別投資計画

（単位：億円）



地 域	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期予定
日 本	38	17	16
ア ジ ア	12	20	24
米 州	14	10	15
欧 州	3	4	5
合 計	66	51	60
減 価 償 却 費	42	45	46

今後の設備投資計画

完工

予定

イギリス

- ▶ 缶用インキ設備増強 ('20年1月 完工)

アメリカ (ウィスコンシン州)

- ▶ パッケージ用インキ設備増強 ('19年末 完工)

アメリカ (オハイオ州)

- ▶ パッケージ用インキ設備増強 ('21年1月 完工予定)

スペイン

- ▶ パッケージ用インキ設備増強
一期工事 ('20年3月 完工)
二期工事 ('20年11月 完工予定)

日本 (大阪)

- ▶ 研究棟の拡張・充実 ('21年5月 完工予定)

中国 (広東省茂名)

- ▶ オフセットインキ第2工場建設 ('21年6月 完工予定)

バングラデシュ

- ▶ パッケージ用インキ新工場建設 ('21年1月 完工予定)

タイ

- ▶ パッケージ用インキ設備増強 ('20年6月 完工)

フィリピン

- ▶ パッケージ用インキ新工場建設 ('22年中 完工予定)

3. 持続的成長に向けた取り組み



当社がめざすこと

毎日の生活に快適・便利
をもたらします



人々の快適な暮らしへの貢献

チャレンジのキーワード

- ・安全安心
- ・便利快適
- ・健康維持



通信技術の高度化
モビリティの軽量化
超高齢化社会への対応



当社がめざすこと

地球環境の負荷低減に
貢献します



持続可能な社会の実現

チャレンジのキーワード

- ・低炭素社会
- ・サーキュラーエコミー



バイオマス原料利用
再生エネルギー促進



注力分野

エレクトロニクス
ケミカル

オプトケミカル

エナジーケミカル

バイオケミカル

戦略キーワード：安全安心、便利快適、健康維持、低炭素社会、サステナビリティ

注力分野

ターゲット領域

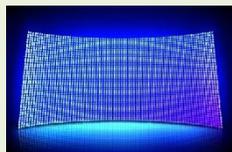
戦略製品

エレクトロニクス
ケミカル

オプトケミカル

エナジーケミカル

バイオケミカル



ディスプレイ



IoT/5G



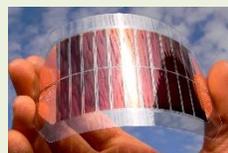
オプト（光学）



ヘルスケア



パッケージ



太陽電池



モビリティ

・環境配慮型製品
（インキ含）

・導電性インク
・電子回路用材料

・屈折率調整剤
・LED封止剤

・ペロブスカイトPVインク

・機能性コーティング剤
・抗菌・抗ウイルスコート剤
・天然由来ヘルスケア製品

事業化に向けた
オープンイノベーションを推進

オープンイノベーションの取り組み（一例）

企業連携

企業連携により、素材から社会実装までのバリューチェーンを構築し、独自のトータルソリューションを顧客に提供

エレクトロニクス製品への展開



産学連携

【当社シーズ領域】

印刷技術

インクジェット技術

【当社注力分野】

エレクトロニクス
ケミカル

エナジーケミカル

オプトケミカル

バイオケミカル

各分野において、幅広く研究機関や企業などと連携

+



滋賀大学とデータサイエンス分野での連携・協力で製品開発を加速

（化学工業日報より）

滋賀大学とデータサイエンス分野
での連携・協力で製品開発を加速

データサイエンス分野で
滋賀大と連携・協力

新たな
価値創造



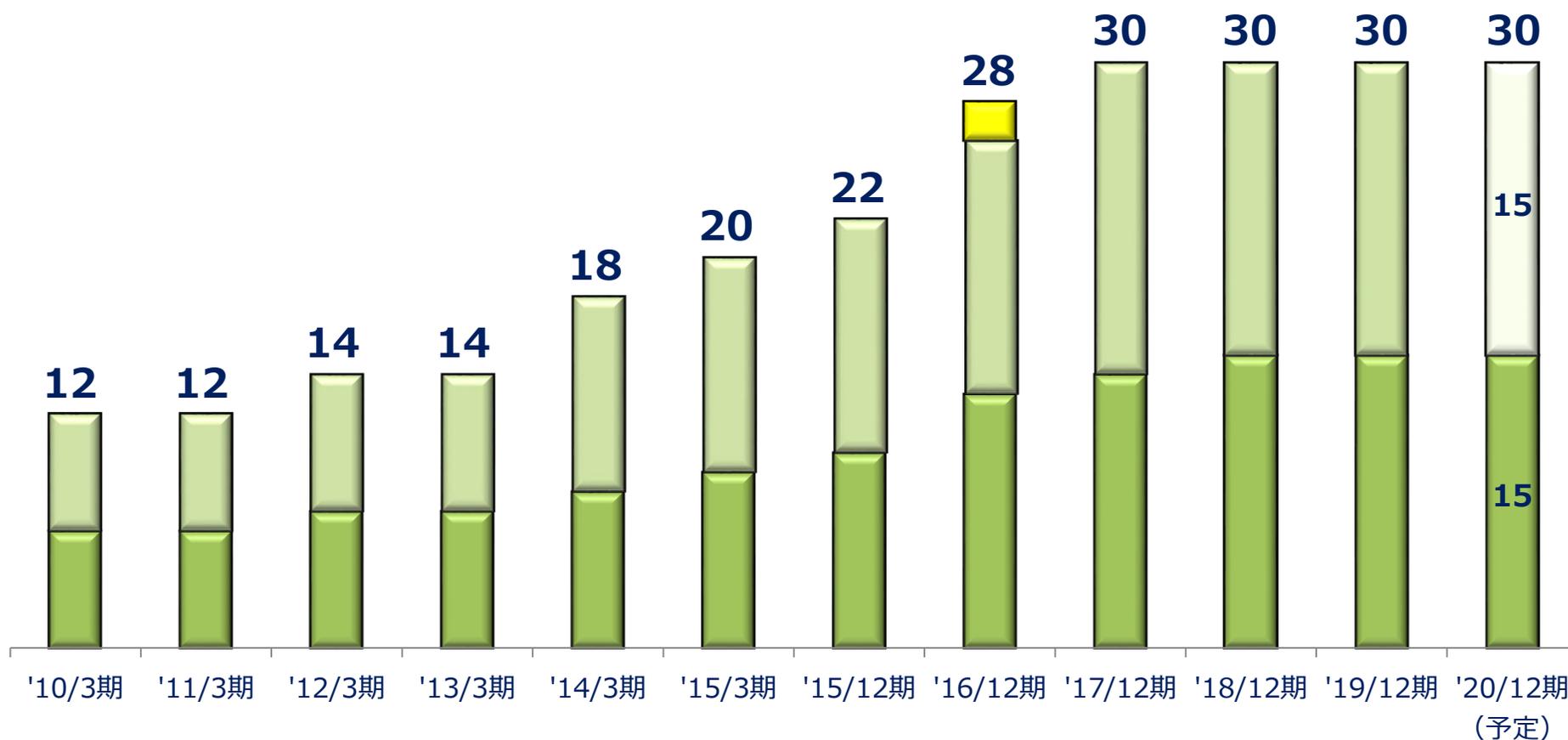
1 株当たり配当金の推移

<配当方針>

- 安定的な利益還元
- 連結配当性向20%前後～30%前後

■ 中間 ■ 期末 ■ 特別・記念

(単位：円)



安心安全、衛生面の向上 抗ウイルスニス



◆ Rabコート VVVシリーズ

- ・紙の表面に塗工することで
優れた抗ウイルス効果を発現
- ・抗菌製品技術協議会（S I A A）認証取得

（8月26日 ニュースリリース）

<http://www.inx.co.jp/news/2020-08-26-2591.html>

安心安全、衛生面の向上 抗菌ニス



◆ Rabコート シリーズ

- ・抗菌効果を発現するニスのラインナップを拡充
- ・抗菌製品技術協議会（S I A A）認証取得

（8月24日 ニュースリリース）

<http://www.inx.co.jp/wp-content/uploads/20200824.pdf>

環境対応、サステナビリティ インクジェットインキ



◆ BSR-Bioインク

- ・植物由来のバイオマス材料を配合した
UV硬化型インクジェットインキ
- ・「ボタニカルインキ」マーク対応

（7月27日 ニュースリリース）

<http://www.inx.co.jp/news/2020-07-27-2559.html>

環境対応、サステナビリティ ウォッシュブルインキ（脱墨インキ）



◆ Genesis GS シリーズ



- ・PETボトルとラベルのリサイクルを
同時に可能にする脱墨インキ
- ・米国APR（the Association of Plastic Recyclers）の
適合認証を取得

（4月24日 ニュースリリース（米国サイト））

<https://www.inxinternational.com/news/04-24-2020>

E 環境

- 環境基本理念・方針、環境マネジメント体制
- 二酸化炭素排出量、廃棄物および大気汚染物質排出量の削減、水質汚濁防止、生物多様性の保全
- 環境配慮型製品の展開
(環境マークの例) ※当社オリジナルマーク含む



ボタニカル
インキマーク



バイオマス
マーク



インクグリーン
マーク



ノンVOC
インキマーク



植物油
インキマーク

- S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数に選定
炭素効率性第1十分位
- 再生可能エネルギーの導入
(滋賀工場に太陽光発電所を設置)



指数のロゴ



太陽光第一発電所



太陽光第二発電所

- 内部統制システム

S 社会

- 労働環境
 - ・ 時間外労働削減に向けて、労働環境の改善
(労働時間管理の徹底、「ノー残業デー」の実施など)
 - ・ 年次有給休暇の取得促進
(全社平均年間取得率50%以上の維持、
年休取得の促進期間設定など)
 - ・ 次世代育成に関する支援
- 労働安全衛生
 - ・ 国内（4工場）
OSHMS認定取得、T P Mアドバンスト特別賞を受賞
 - ・ 海外
OHSAS18001/ISO45001認証取得（5ヶ国）
T P M優秀賞を受賞（米国のカンザス工場）
- 健康管理
 - ・ 健康経営宣言
 - ・ 感染症対策

G ガバナンス

➤ コーポレート・ガバナンス体制 (意思決定・業務執行体制)

- ・ 取締役会8名（社外取締役3名（うち女性1名））
- ・ 執行役員制度（2018年3月導入）
- ・ 指名・報酬委員会（2018年12月設置）
- ・ インターナショナル・アドバイザリー・ボード（2015年6月設置）
- ・ CSR委員会を最上位の委員会とし、その下に各種委員会を設置

〈監査体制〉

- ・ 監査役会設置会社
- ・ 監査役会（監査役4名（社外監査役2名含む））

➤ 社会・地域への貢献

- ・ 「ホワイト物流」に参画

- 倫理行動基準、
内部通報制度、個人情報保護

SAKATA INX...

Visual Communication Technology

